

令和3年度に向けた県土整備部の施策の基本方針

令和2年11月定例会（付託）
県土整備委員会資料（その1）
県土整備部

「災害列島」、「人口減少」、「新型コロナ」の3つの国難打破に向けた施策を展開

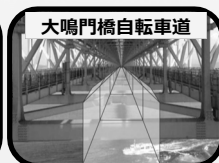


新たな観光資源の創造

- ▶ 世界初！「DMV」の本格営業運行
- ▶ 新しいサイクル・ルートの創出

活力ある地域づくりの推進

- ▶ 治水・環境が融合する流域整備の推進
- ▶ 新ホールへの新駅設置にチャレンジ
- ▶ スポーツレガシーの創出



建設産業の健全な発展

- ▶ 魅力・やりがいの発信
- ▶ 担い手の確保・育成



革新技術の導入

- ▶ IoT・AI・5G等の現場実装
- ▶ 生産性向上に向けた建設DXの推進
- ▶ 自動運転の社会実装

新たな建設生産プロセス(イメージ)



交通体系の進化

- ▶ 高速道路ネットワークの整備
- ▶ ICアクセス道路の整備
- ▶ 「次世代地域公共交通ビジョン」の実装

「ゲートウェイとくしま」の加速

- ▶ 航空ネットワークの充実
- ▶ クルーズ船の寄港拡大
- ▶ 新たな「海上交通」の実証運航

賢い利活用によるストック効果の拡大

- ▶ 四国の玄関口・津田地区活性化の推進
- ▶ 空き家活用による「リビングシフト」の拠点整備
- ▶ リタイアインフラ、道路予定地等の有効利活用の推進

① 夢と感動の体感

③ 地域経済の持続的成長

楽しみたい

魅力向上！

働いてみたい

「新次元の分散型国土」創出！

行ってみたい

魅力向上！

住んでみたい

② 交流人口の拡大

④ 生活環境の向上



良質な住環境の形成

- ▶ 人と環境に優しい
- ▶ 全国初の「木造建築モデル」の実現
- ▶ きれいな水環境の創造

道路交通環境の改善

- ▶ 歩道整備等による暮らしのセーフティネット構築
- ▶ 道路照明のLED化の加速

公共事業の執行体制を強化！

進行管理を徹底



災害に屈しない強靱な社会基盤がしっかりと下支え

○事前復興、再度災害防止

- ▶ 気候変動にも対応し得るハード・ソフトを総動員した洪水、土砂災害、高潮・高波対策
- ▶ ダム事前放流をはじめとする流域治水の推進
- ▶ 大規模地震を迎え撃つ地震・津波対策
- ▶ 戦略的なインフラ老朽化対策
- ▶ 災害に強い住環境の構築



○強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築

- ▶ 高速道路のミッシングリンク解消、機能強化
- ▶ 緊急輸送道路の整備
- ▶ 道路法面の防災機能強化、橋梁耐震化
- 災害対応力の強化
 - ▶ 「TEC-徳島」による即応力向上
 - ▶ 官民の連携体制の強化

WITHコロナ時代の他産業を下支え！

飲食業等

